



きつと!!

東京集会実行委員会ニュース No.6 2016年3月発行

2月28日、無事にプレ集を終える事が出来ました。
ご参加・ご協力頂きありがとうございました!

午前の講座後、速報作成しました。
プレ集の詳細とともに会報や
ホームページに掲載しますので
是非ご覧ください!

今回やってみての課題や問題を
各係で話し合いよりよい東京会に
なるように繋げていきましょう!
(事務局次長 富岡)



スカイツリーだけじゃない! TOKYOはこんなところ!

～ 広報でいってみよう、その② 調布市 ～

今回は、会場からほど近い、調布市を紹介します! 調布駅またはつつじヶ丘駅からバスで15分程の場所にある深大寺は、自然と歴史を満喫するならもってこいの場所です。参道にはたくさんのそば屋や甘味所、みやげ屋が立ち並んでいるので、ぜひお気に入りのお店を見つけてみてください。

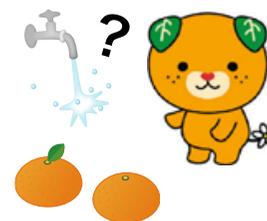
その中でも、一際目を引く鬼太郎茶屋。入口には、鬼太郎・ねずみ男などおなじみのキャラクターがお出迎え。1階にはショップとカフェ、2階にはギャラリーとデッキがあり、デッキには、鬼太郎のちゃんちゃんこ&カツラもあるので、鬼太郎になりきって記念撮影もできますよ～! 水木先生の貴重な原画も展示してあるので、水木しげるファンは必見です! カフェにはキャラクターをあしらった妖怪メニューが充実。どれも食べたいメニューばかりで迷うこと間違いなし! その他にも水車小屋、天然温泉、神代植物公園など、見所いっぱいの深大寺周辺、ぜひ遊びに行ってみてくださいね!! 広報メンバー畑中・村田



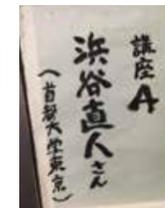
連載

東京集会で
会いましょう!

全国のみなさま、こんにちは。東京集会で開会式と会場係を担当しています山田千愛(やまだ ちえ)です。愛媛県で育ち、大学進学を機に上京しました。「どこ出身ですか?」との問いかけに「愛媛県です(-)」と、ここぞとばかりに愛媛アピールをしています。でも、関東では愛媛はもとより四国出身の人と出会うことが数少なく、「みきゃんがね……」と言うと「なにそれ?」と聞かれたり、「蛇口からボンジュースが出るって本当?」と尋ねられたりします。そのたびに絶好のチャンスだと捉えて「あのね……」と説明しています。愛媛 LOVE アピールをしています、たまには愛媛の人と話したい……。やけんね、東京集会に向けて楽しみに勉強になるもんをたくさん用意しよるんよ。愛媛保問研のみなさま、東京集会で会って伊予弁で話したいけん、楽しみに待っとるね。



裏面では6月4日・5日の会場となる
首都大学東京南大沢キャンパスの
最寄、南大沢駅へのアクセスを紹介!



実行委員会ニュース No.2 では、E あそび、F 表現、G 伝統芸能を、実行委員会ニュース No.4 では、H 海外の保育、I 東京・多摩地域の自然(雑木林)、J 人形づくりについて紹介しています。そちらも合わせてご覧ください! 今後発行のニュースでも引き続き、特別講座の紹介をさせて頂く予定です。

特別講座

(企画担当 鳩貝)

講座 A 新制度における保育の課題

— 保育の中の教育を考える —

講師: 白梅学園大学子ども学部子ども学科教授

近藤幹生さん

子ども・子育て支援新制度の概要や保育実践現場の実態を正面から見つめ、子ども・保育者・保護者のそれぞれの立場から、改善の方向を議論し学びあいます。いまこそ、保育者の専門性や保育の生きがい、魅力などについて、共に考え合ひましょう。

講座 C みんなのしゃべり場 ~若者が語る・若者と語る~

コーディネーター: 愛知保問研 中村強士さん
田中千草さん

分科会とは違った雰囲気の中で、保育の魅力や悩み、素朴な疑問、楽しさを語り合えます。小さな声こそ大切に、実践者・研究者どの人も自らの想いを語り合ひましょう! どんな参加者もあたたかく迎え入れる「しゃべり場」をみんなでつくしましょう。

講座 L 「伝えあい保育」に込められた想い

— 50年代の実践をもとに —

講師: 東京保問研 田代康子さん

戦後の疲弊しきった社会の中、頻発した子どもたち問題傾向。保育者たちは根本的に解決できる新しい保育方法を探り出す必要があると考えました。50年代の論議の過程がわかる資料や実践例をもとにして、「伝えあい保育」に込められた想いをお話ししてもらいます。